Wikipedia人的資源マイニング

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　1142066　曽我勇貴

1．研究背景

　Wikipediaは，多くの人がボランティアで執筆するオンライン百科事典プロジェクトである．

Wikipediaは2001年1月15日に創設された．2003年6月20日に「ウィキメディア財団」がジミー・ウェールズにより創設された．現在2014年9月1日では，287言語のWikipediaが開設されており，この全てのオープンコンテキストの知識資源は無料で一般に提供されている．

多くの人が参加するプロジェクトの代表例であるWikipediaを調査することによって，このような形式のプロジェクトのマネジメントについての有意義な知見が得られることが期待される．

ウィキペディアの成功理由についてはさまざまな考察がされている．例えば，「Google」の検索結果の上位(最初のページ)に「Wikipedia」の項目が表示されていることが多い．これは，Wikipediaにリンクするウェブページがおおくなった結果であるが，このことによって，Wikipediaを利用する人はさらに増えたはずである．

しかし，Wikipediaの衰退が始まっているという報告もある[1]．Wikipedia英語版では，執筆者の協力を失いつつあり，2007年から2012年までに執筆者の30％を失っている．(現在3万1000人．世界のWikipediaの総計は25万人である[1])．Wikipediaの日本語版の統計[2]を見ても同じような傾向がみられ，2009年11月1日の11,310人に対して，2013年12月12日は，10880人と減少している．

本研究では，参加者の振る舞いのデータをマイニングすることによって，Wikipediaの成功理由を見つけることを目指す．さらに，衰退してきているWikipediaの執筆者の離脱を防ぐ手段について考案する．

2．研究目的

　Wikipediaを一つのプロジェクトとみなし，このオンライン百科事典で人的資源がどのように活用されているかを調査する．この調査により，オープンな共同作業プロジェクトにおける，人的資源マネジメントのあり方についての知見を得たい．

3．研究方法

　Wikipediaの作業履歴データを取得し，どのように人的資源が活用されているかを明らかにする．また，オープンな共同作業プロジェクトにおける人的資源マネジメントのあり方を提案する．

4．結果

　Wikipediaの編集回数の多いウィキペディアン[3]のランキングの上位200名の動向を調査した．調査した数値の値を log10で揃えヒストグラムを作成した．Wikipediaを多く編集している人は個人ページの編集も多く行っており，紹介文のバイト数も多いという結果になった．

5.結論・考察

　Wikipediaに多くの投稿・編集をしてくれている人々は，自分の個人ページを持っている．尚且つ編集回数が多くWikipediaに協力的なので，自己顕示欲の表れだと考察される．共同作業の場では，自己顕示欲のある人々が集まればプロジェクトが成功すると考察できる．

参考文献

[1] ALESSANDRO LONGO,TAKESHI OTOSHI(2013)「Wikipediaが岐路に立っている？」<<http://wired.jp/2013/11/27/the-decline-of-wikipedia/>>(参照2013.11.27).

[2]Tom Simonite(2013)「ウィキペディアの衰退」<<http://www.technologyreview.com/featuredstory/520446/the-decline-of-wikipedia/>> (参照2013.10.22).

[3]秋雪(2006)「Wikipedia:編集回数の多いウィキペディアンの一覧」< <http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:%E7%B7%A8%E9%9B%86%E5%9B%9E%E6%95%B0%E3%81%AE%E5%A4%9A%E3%81%84%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%82%AD%E3%83%9A%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7>>(参照2014-8-11)